

泌尿器科 PSA 検査のご案内

PSA（ピーエスエー）とは

PSAとは「前立腺特異抗原、prostate-specific antigen」の略語で、前立腺の上皮細胞から分泌されるタンパクのことを言います。多くは精液中に分泌され、精液のゲル化に関係していますが、ごく微量が血液中に取り込まれ、その値によって「PSAが高い」と指摘されることがしばしばあります。健康診断や、人間ドックなどでPSAをチェックする機会が増えており、一般的にPSAが高い、と言われる基準値は4ng/mlとされていますが、PSAは加齢に伴い高めに検出されるため、栃木県では年齢階層別に基準値を決めています(50-64歳：3.0 mg/ml以上、65-69歳：3.5 mg/ml以上、70歳以上：4.0 mg/ml以上)。

PSAが高い原因について

PSAが高い場合に考えられる疾患は①前立腺癌、②前立腺肥大症、③前立腺炎、などが考えられます。また、前立腺への機械的な刺激でも軽度上昇する場合があります。この中で、もっとも重要な疾患が前立腺癌で、PSAの値が高くなるに従って、前立腺の組織を針で採取して病理所見を確認する前立腺生検によって発見される確率が高くなります。また、同じPSAの値でも、前立腺のサイズが大きい場合には癌が発見される確率が低くなります。

PSAが高い場合の検査について

「PSAが高いと言われた」場合にはどのようにしたらよいでしょう。PSAが高くなる疾患には前立腺の癌、肥大症、炎症などがあるわけですが、PSAの高さの程度によって癌の確率がほぼ決まっており、4ng/ml前後の基準値の場合でも約30%に方に癌が発見されます。まず、泌尿器科専門の施設を受診していただき、精密検査がさらに必要かどうか相談してください。一般的にはPSAをもう一度測定し、値の変動があるかみることが多く、直腸診で前立腺が腫大しているかどうか・硬い部分があるかどうかなどをみます。また超音波検査で前立腺のサイズの測定や形態を観察することもあります。さらに、症状や検尿などで前立腺に炎症があるかどうかなどを判断します。こうしたことを総合的に考慮して、癌が疑われるようであれば精密検査（前立腺生検）が勧められ、肥大症や炎症が考える場合には適した治療がなされます。放置せず、泌尿器科の専門施設の受診をお勧めいたします。

当センターの泌尿器科を受診するには？

まずは予約センターにご連絡ください。

予約センター 028-658-5012

受付時間 平日① 8:30~16:30

検査日	月	火	水	木	金
午前	-	武井 航平	貫井 昭徳	-	貫井 昭徳 武井 航平
午後	-	-	-	-	-